

特別プログラム 看護・介護セミナー ～中・重度患者へのケア～

【コーディネーター】日本療養病床協会 ナース・マネジャー委員会

【主旨】

今回のナース・マネジャー委員会では、ケアプランの策定に役立つ、より実践的なセミナーを開催することになりました。昨年までの研究大会で「排泄」「食事」「ターミナルケア」等に関するパネルディスカッションを開催してきましたが、今回は介護保険制度の改正や介護報酬改定で示された療養病床が求められる「中・重度者へのケア」に焦点を絞り、具体的には ADL 向上に向けての具体的なアプローチ、摂食・嚥下機能の向上プランの作成、認知症ケアの最新情報等をテーマとしました。国の方針とはいえ療養病床の削減は、私たちサービス提供側だけでなく、在宅での療養生活が不可能な中・重度者やそのご家族にとっても大きな衝撃です。私たちだからこそ提供できる「ケア」を今こそ確立していかなければなりません。ぜひ、今回のセミナーを機会に「私たちの病院の役割」を看護・介護の立場で発言していきたいと考えています。

ナース・マネジャー委員会では、「療養病床の看護（介護）が問われている中では、看護（介護）のあり方を見直す部会が必要ではないか。管理者に限る必要はない」等の意見を受け止め、今回のセミナーを最後に新たな委員会として生まれ変わることになりました。研究大会におけるパネルディスカッションの開催を主目的にしてきた現状から、看護・介護部会（仮称）として様々な取り組みを企画運営していくこととなります。具体的な内容はあらためて発表する予定です。乞うご期待！

【プログラム・9月7日(木) 16:00～18:30】

16:00～16:40 講演 「療養病床の制度とADLの向上について」
齊藤正身（霞ヶ関南病院 理事長）

16:40～17:20 講演 「いのちを育む『食』」
田中靖代（ナーシングホーム気の里 施設長）

17:20～18:00 講演 「老人看護専門看護師・認知症高齢者認定看護師の誕生と専門の必要性」
桑田美代子（青梅慶友病院 看護・介護開発室長）

18:00～18:30 ディスカッション

【総合司会】田元孝子（近森リハビリテーション病院 外来看護師長）